

(記入例)

令和8年度の在籍校・学年をご記入ください。

保護者等（申請者）氏名 南砺 太郎		住所 〒 000-0000 南砺市△△123番地		児童・生徒氏名 南砺 花子		学校名、学年（特別支援学級名） 〇〇中学校・2年（□□学級）		第1類に おける進減率		都道府県の地区別区分 (I、II、III、IV、V、VI) 地域の級地区分 1-1、1-2、2-1、2-2、3-1、3-2		学 校 長 承 認	
世帯の収入状況		世帯の状況（前年12月末日現在）				需 要 額 等							
		収入のある世帯員氏名	生年月日（満年齢）	続柄 (該当に丸を付け、その他は具体的に記載)	在学学校名・学年 (特別支援学級名)	基準額	教材代	学校給食費	通学費	第1類	期末一時扶助費	障害者/母子加算額	第2類
所得 除 前 の	総所得金額☆	南砺 太郎	S□□年12月12日 (46才)	父・母・本人 祖父母・その他									h (基準額)
	退職所得金額	南砺 福子	S□□年6月6日 (44才)	父・母・本人 祖父母・その他									i (地区別冬季加算額)
	山林所得金額	南砺 光男	S□□年7月7日 (80才)	父・母・本人 祖父母・その他									j 生活扶助基準計 (e×進減率、f~iの合計)
	計	A	年 月 日	父・母・本人 祖父母・その他									
所得 控 除	雑損控除	収入のない世帯員氏名	生年月日（満年齢）	続柄 (該当に丸を付け、その他は具体的に記載)	在学学校名・学年 (特別支援学級名)								
	社会保険料	南砺 花子	R□□年10月10日 (14才)	本人	〇〇中学校・1年 (□□学級)								k 住宅扶助基準
	小規模企業共済等掛金控除	南砺 利子	R□□年9月9日 (9才)	兄・姉・弟・妹 その他	〇〇小学校 3年 (〇〇学級)								
	生命保険料	南砺 波男	R□□年8月8日 (6才)	兄・姉・弟・妹 その他									l 需要額 (a~d、j、kの合計)
	地震保険料		年 月 日	兄・姉・弟・妹 その他									
	ひとり親又は寡婦控除の額 ※保護者等のみ		年 月 日	兄・姉・弟・妹 その他									
計	B	年 月 日	兄・姉・弟・妹 その他										
所得額(A-B)	C	年 月 日	兄・姉・弟・妹 その他										
収入額(C×1/12)	D	合 計				a	b	c	d	e	f	g	
通学費 明細	(特別支援学校・学級への通学費を要した者ごとに記入すること)					特記事項					支学区分 □ I段階 (令第2条第1号該当) □ II段階 (" 第2号該当) □ III段階 (" 第3号該当)		
<input type="checkbox"/> 要保護者 <input type="checkbox"/> 被保護 <input type="checkbox"/> 要保護													

・令和7年12月末日現在、生計を同一にする世帯員全員をご記入ください。

・「満年齢」についても、令和7年12月末日現在での年齢をご記入ください。

・令和7年度中に学校に就学していた兄弟姉妹がいる場合は、在籍校と学年（特別支援学級在籍の場合は学級名も）をご記入ください。

(注) 1. 特記事項欄は生活保護等の該当事項を記入すること。
 2. 整理番号は個人別支給台帳の番号に合わせること。
 3. 収集した個人番号は、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律別表第二の主務省令で定める事務及び情報を定める命令（平成26年内閣府・総務省令第7号）第23条に基づく事務に限って使用します。

(山村留学生記入例)

令和8年度の在籍校・学年をご記入ください。

保護者等（申請者）氏名 南 砺 太郎		住所 〒 000-0000 富山市△△123番地 (保護者住所)			児童・生徒氏名 南 砺 花子		学校名、学年（特別支援学級名） 利賀学舎・1年			第1類に おける通減率		都道府県の地区別区分 (I、II、III、IV、V、VI) 地域の級地区分 1-1、1-2、2-1、2-2、3-1、3-2		学 校 長 承 認		
世帯の収入状況		世帯の状況（前年12月末日現在）			需 要 額 等											
		収入のある世帯員氏名	生年月日（満年齢）	続柄 (該当に丸を付け、その他は具体的に記載)	在学学校名・学年 (特別支援学級名)	教育扶助基準		生活扶助基準		第1類		期末一時加算額		障害者/母子		
		南 砺 太郎	S□□年12月12日 (46才)	父・母・本人 祖父母・その他		基準額		教材代		学校給食費		通学費		第2類		
所得除前の計		A	年 月 日	父・母・本人 祖父母・その他										h (基準額)		
所得控除		総所得金額☆												i (地区別冬季加算額)		
		退職所得金額	S□□年6月6日 (44才)	父・母・本人 祖父母・その他										j 生活扶助基準計 (e×通減率、f~iの合計)		
		山林所得金額	S□□年7月7日 (80才)	父・母・本人 祖父母・その他										k 住宅扶助基準		
所得控除		雑損控除	収入のない世帯員氏名	生年月日（満年齢）	続柄 (該当に丸を付け、その他は具体的に記載)	在学学校名・学年 (特別支援学級名)									l 需要額 (a~d、j、kの合計)	
		社会保険料	南 砺 花子	R□□年10月10日 (14才)	本人	富山市立○○小学校・6年 (□□学級)									D =	
		小規模企業共済等掛金控除	南 砺 利子	R□□年9月9日 (9才)	兄・姉・弟・妹 その他	富山市立○○小学校 3年									E =	
		生命保険料	南 砺 波男	R□□年8月8日 (6才)	兄・姉・弟・妹 その他										F =	
		地震保険料		年 月 日	兄・姉・弟・妹 その他										G =	
		ひとり親又は寡婦控除の額 ※保護者等のみ		年 月 日	兄・姉・弟・妹 その他										H =	
所得額(A-B)		C		年 月 日	兄・姉・弟・妹 その他										I =	
収入額(C×1/12)		D		年 月 日	兄・姉・弟・妹 その他										J =	
通学費明細		C		年 月 日	兄・姉・弟・妹 その他										K =	
		収入額(C×1/12)	合 計				a		b		c		d		e	
															f	
															g	
特記事項																